

宮城県補助金243万円交付決定 井土浜・柳生2カ所の工事7月末発注



6月末決定という触れ込みで5月受け付けされた「宮城県新エネルギー設備導入支援事業補助金」が7月27日やっと決定となり、翌日の28日243万9千円の補助金交付の通知書が届きました。さっそく28日大和町の「プロジェクト宇佐美」を訪問し、井土浜・柳生2カ所の太陽光パネル設置工事を発注しました。

これにより、井土浜宅地17番地の整地が8月10日より始まり、太陽光パネル設置工事が8月17日から9月1日まで行われることになりました。そして9月7日以降に、東北電力との連絡が行われます。

太白区柳生の方は9月1日以降の工事となり、これから柳生もりの子保育園と工事期間の相談をさせていただきます。

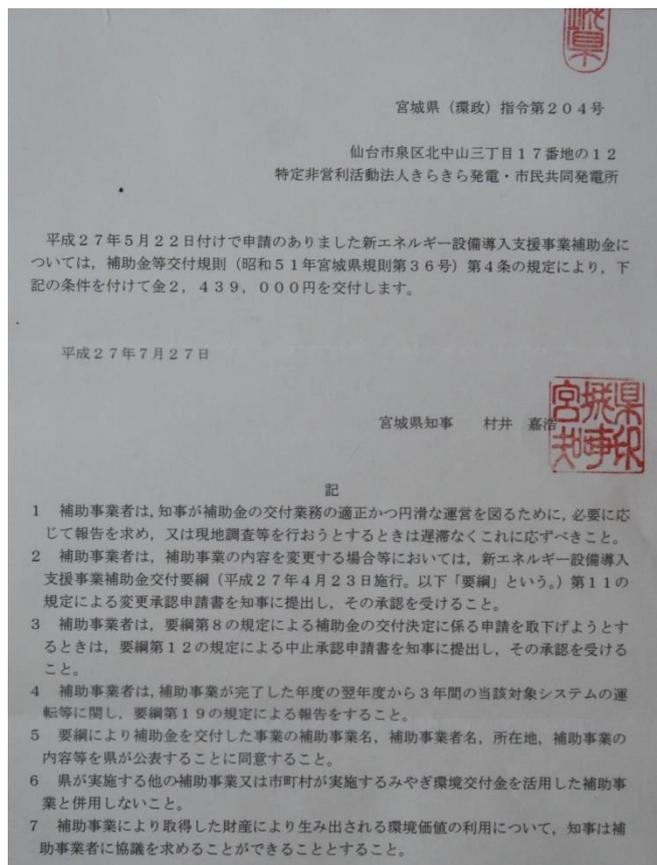
基金振込2868万円に

4月20日振込開始した市民共同発電所基金は7月22日2868万円の到達となりました。寄付金は50名の方から52万5千円の協力をいただきました。

これで宮城県の補助金と合わせ、3164万円の資金が集まったこととなります。ご協力に感謝申し上げます。

井土浜発電開所式9月6日

きらきら発電では、第1号機となる井土浜発電所の開所式を9月6日(日)行うことにしました。午前9時半現地集合し、記念撮影のあと、井土浜仮設集会所に移動して記念式典を行います。会員・賛助会員には既に往復はがきでお知らせしています。ご返事をお待ちしています。



NPOきらきら発電・市民共同発電所
〒981-3215 仙台市泉区北中山 3-17-12
広幡方 電話・FAX 022-379-3777
メール=kirakirahatuden@outlook.jp
<http://kirakirahatuden.com/>
News 第9号 2015年8月

放射能汚染物質焼却処分！ 7月試験焼却、8月から530t本焼却実施

仙台市が7月13日から17日42tを試験焼却(今泉・松森・葛岡三力所)

泉病院友の会環境委員会と脱原発仙台市民会議が7月17日、仙台市松森焼却場で仙台市経済局農業振興課佐々木課長より、放射能汚染物質の焼却について説明を受けました。

農業振興課佐々木課長、8月本実施を強調

対象物は牧草9戸327トン・ほだ木5戸245トン(泉区根白石・青葉区芋沢大倉・太白区秋保坪沼)、一番高い値で5400ベクレル、平均490~135ベクレル。試験焼却では毎日8.5トンの汚染物質を焼却。一般ゴミと混入焼却し、混入率1%未満。試験焼却で安全性確認(運搬時の飛散防止・焼却中の空間線量・灰の放射線濃度・排ガス放流水の放射線濃度の測定)し、8月中下旬以降本実施。本実施も一日8.5トンの焼却で、本年度内に終える予定。

泉病院友の会・脱原発仙台市民会議から意見要望

参加者から「市民や焼却場の周囲に住む住民に通知すべきではないか」「宮古市での市民の調査



にある通り、焼却場周囲の放射線量が高い。しかもバクフィルターは0.3μm未満のゴミの捕獲を製造会社が保証していない。周辺に放射性セシウムが拡散することは必至」「汚染物質を焼却するのは放射線管理上問題。仙台市は汚染物質を一般ゴミとして出していると言っておきながら、何故牧草・ほだ木だけは別扱いするのか」等の意見が出ました。

佐々木課長からは「議会承認事項ではないが、6月議会中に関係する常任委員会で説明した。6月24日には報道陣にも公開。しかし試験実施まで報道してくれなかった。結果試験焼却を市民に通知できなかった。市民への広報は必要と考えるので、本実施の場合ホームページでの公開や報道陣への公開など、広報の仕方を検討したい」と答弁しました。

仙台市農業振興課と8月初め(8月7日~11日)に再度懇談

最後に、試験焼却の結果がそろそろ8月初め再度懇談することを確認し、解散しました。

脱原発市民会議、今後の対応を8月8日に協議

きらきら発電が団体加入する脱原発仙台市民会議では、8月8日の役員会で焼却問題への対応を協議します。まず仙台市に対しては本実施前に「住民への説明の機会を持ち、住民の了解を得ること」「周辺に焼却の影響がないか調査すること」を求めていく予定です。同時に8月17日~19日市民の力で葛岡焼却場周辺地域の空間線量を測定することを検討しています。興味・関心のある方は、8月8日の役員会に参加ください。役員会は公開です。場所=仙台市市民活動サポートセンター(広瀬通り)、時間=8月8日16時~17時半。参加希望者は事前に連絡を。